

---

# お巡りさんの平和な日常

春野夜風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

お巡りさんの平和な日常

### 【Zマーク】

N3053E

### 【作者名】

春野夜風

### 【あらすじ】

ある町のお巡りさんの日常を描きました。彼女の見守る町が平和なのか、彼女の頭が平和なのか、私にもわかりません。

私はとある平和な町のお巡りさん。今日もとつても平和なこの町で、ゆっくりゆっくりと時間が流れしていく。私はお茶を飲みながら交番の外を眺め、愛すべき市民を見守っています。

ガン！

あつ、交通事故だ。運転手の人血まみれだよ…痛そうだな…。

「お巡りさん！ 大変だよ！ 正面衝突だ！」

近所の山田さんが大急ぎで私の交番に入ってきました。私は彼にこう言つてあげました。

私に言つ前に救急車を呼んであげないとダメでしょ。  
つて。そしたら彼は、

「しまった！ 僕としたことが動搖した！」

私が交番に備え付けの電話を貸してあげると、直ぐ様110番に電話する山田さん。入つて本当に動搖してると消防と警察を間違えるのね。私は山田さんの間違いを指定して、電話を一旦切り、119番を押してあげる。彼が ありがとうござりますと言つたのを聞いて、椅子に座る。

山田さんが電話してるのを聞いていると『消防です！』と叫んでいた。山田さん、救急を呼ばないと。消防呼んでも意味ないですよ。

動搖している山田さんから受話器を借りて、私が現場の状況などを的確に指示。

程無くして救急車のサイレンが聞こえきました。やっぱり、近くに消防署があるのは便利ですね。

ピー・ポー・ピー・ポ

ガン！

あつ、電柱にぶつかつた。しかも山田さんを巻き込んだ。

「だ…誰か救急を…」

救急はアナタでしょ。

まあ、放つておくわけにもいかないのでつ一度119番に通報しました。

ピー・ボー・ピー・ボー

2回目の救急車も直ぐに到着。

的確な指示で事故に巻き込まれた人と同僚たちを救急車に乗せていく。

さて、職質とかテレビ局とかにつかまるのは面倒ですし、見つか  
る前にパトロールに行きましょう。

彼女愛用の電動補助付き自転車に跨り、キロキロと漕ぎ出す。

「今日も平和です」

おしまい

(後書き)

彼女の見守る平和な町にあなたも来てみませんか?  
評価・感想をいただけすると感謝の極みです。

m (—) m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3053e/>

---

お巡りさんの平和な日常

2011年2月3日11時02分発行